## KANSAI DX AWARD 2024

# 公式プレス発表 抜粋

引用先:関西デジタル・マンス実行委員会

事務局: 関西経済連合

関西デジタル・マンス実行委員会 公益社団法人 関西経済連合会 関西広域連合 総務省 近畿総合通信局 経済産業省 近畿経済産業局 一般財団法人 関西情報センター 独立行政法人 情報処理推進機構 独立行政法人 中小企業基盤整備機構

#### 「KANSAI DX AWARD 2024」受賞企業決定について



関西デジタル・マンス実行委員会(事務局:関西経済連合会)は、関西の DX 推進の機運を醸成するため、「関西デジタル・マンス」を創設し、官民が連携しながら様々な取り組みを実施しております。

その一環として、この度、DX の先進事例として特に優秀と認めた企業を表彰する「KANSAI DX AWARD 2024」を開催し、受賞者を下記のとおり決定しましたので、お知らせいたします。

記

#### 受賞企業

<グランプリ> コマツ株式会社および同志社大学

<金賞(大企業部門)> ダイハツ工業株式会社

ダイドーグループホールディングス株式会社

住友電気工業株式会社

<金賞(中堅中小企業部門)> 株式会社パーシテック

株式会社高速オフセット

IX ホールディングス株式会社

<近畿総合通信局長賞> 株式会社eWeLL

<近畿経済産業局長賞> 株式会社ゲートジャパン

※受賞者の概要と受賞理由については、別紙をご参照ください。

以上

- 参考資料:関西 DX 戦略 2025 ~「カベ」を越えて目指す DX 先進地域~ (URL) https://www.kankeiren.or.jp/material/221221houkokusho1.pdf



## KANSAI DX AWARD 2024 受賞企業

### KANSAI DX AWARD 2024 概要

#### 1. 趣旨

- ▶ 関西の企業のDXの取り組みを表彰することで、当該企業のDX推進を後押しするとともに、取り組みを広報することで他企業のDX推進を後押しし、機運醸成を図る。
- ▶ 優良事例の選定・公表を通じて、関西の各地域内や業種内での横展開を図り、企業間交流の促進による中堅・中小企業等におけるDX推進及び各地域での取組みの活性化につなげていく。

#### 2. 各賞一覧

各賞	表彰内容
グランプリ (1社)	総合的に最も評価の高い企業を表彰する
<b>金賞(大企業部門)</b> (3社)	大企業から、総合的に評価の高い企業を表彰する
<b>金賞(中小企業部門)</b> (3社)	中堅・中小企業から、総合的に評価の高い企業を表彰する
<b>近畿総合通信局長賞</b>	ICTを利活用し、地域の魅力向上・活性化につながるDXの取組みを評価する
<b>近畿経済産業局長賞</b>	地域経済の活性化に貢献し、地域のモデルとなるようなDXの取組みを評価する

#### 3. 募集対象

- ・福井、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、鳥取、徳島の各府県に本社又は事業所を置く企業 (上記地域に本社がない場合は、上記地域に所在する事業所の取組みのみ応募可)
- ・事業規模等の制約なし。
- ・自薦/他薦ともに受け付けることとする。

## 審査体制

▶ 審查委員長:慶應義塾大学 医学部 教授 宮田 裕章 氏

▶ 審査委員 : 関西デジタル・マンス実行委員会メンバー(下表のとおり)

団体名	審査委員
関西経済連合会	常務理事 産業部長 久米 一郎
関西広域連合	本部事務局 次長 西島 由美
総務省近畿総合通信局	情報通信部 情報通信連携課長 猿田 達彦
経済産業省近畿経済産業局	地域経済部次世代産業·情報政策課長 土屋 貴史
関西情報センター	常務理事 竹中 篤
情報処理推進機構	理事 奥村 明俊
中小企業基盤整備機構	近畿本部 企業支援部 企業支援課長 國本 真之介

## KANSAI DX AWARD 2024 受賞企業

賞	表彰対象企業
グランプリ	コマツ株式会社および同志社大学
金賞(大企業部門)	ダイハツ工業株式会社
	ダイドーグループホールディングス株式会社
	住友電気工業株式会社
金賞 (中堅·中小企業部門)	株式会社パーシテック
	株式会社高速オフセット
	IXホールディングス株式会社
近畿総合通信局長賞	株式会社eWeLL
近畿経済産業局長賞	株式会社ゲートジャパン

### 金賞(中堅・中小企業部門):株式会社パーシテック

#### 【企業概要】

▶ 2016年に設立された京都府京都市のスマート農業支援 サービス事業者。農業のIoT化を進めるビジネスモデルの提案 デジタル機器と名人技を融合させた、新しい農業の提案により、高付加価値な農産物の育成を実現し、後継者育成を展 開する。



#### 【主な取組み】

- ▶ 実家の果樹農園を継承するにあたり、足腰の弱くなった父親の技能をどのように伝承するか?という自身の課題からスタートしたもの。
- ▶ センサーメーカーやスマートグラスメーカーと共に運用実証実験など協力関係を構築。ARを駆使した遠隔 作業支援ビジネスやドローンによる遠隔映像確認、農薬散布等のサービスを開始。
- ▶ 高齢者の技能伝承課題に寄与するだけでなく、遠隔収穫体験等の新しいサービスも展開。

#### 【受賞理由】

▶ 農業にARやドローン等最新技術を積極的に導入し生産性を高める取り組みとして評価。技能伝承等の地域の課題解決にも寄与している。観光ビジネスにつなげた横展開性も評価。

